

クリーンで災害に強い分散型エネルギーというLPガスの特性を更に高め、国連が掲げるSDGs目標に沿った持続可能社会実現に貢献するために、再生可能エネルギーとの共生、レジリエンスの強化、輸送用燃料の積極的活用に加え、新たなイノベーションを生み出し、社会実装に直結する取組みを業界一丸で進めます。

① LPガスは供給体制が万全な分散型エネルギーであり、持続可能（サステナブル）な強みを将来的にも持ち続けることから、発展した社会と人々の豊かな暮らしを継続的かつ安定的に支えます

LPガスの供給源は多様化し、盤石な備蓄体制もあり、先進的なLPガス技術と保安体制は整備されており、国際的な交流も進んでいます。再生可能エネルギーの検討を進めることで、**ネットゼロエミッション***のLPガスの研究を行います。



② IoT、AI等の先進的スマート技術や革新的技術開発によるLPガスの合成を進め、マイクログリッド構築に必要なLPガス用発電機器等の設置を推進することで、分散電源化にも積極的に対応します

LPガスはサステナブルな物流を維持するためのIoT、AIの導入を進め、低炭素化・水素化社会に向けた革新的な技術で**CO₂フリーLPガス合成***の検討を進めると共に、LPガス電源の分散型マイクログリッドとの連携の検討も進めます。



③ サステナブルな社会を構築するには、分散型エネルギーであるLPガスが災害時や平時にも電力のバックアップをすることが必要であり、エネルギーセキュリティの観点からもLPガスは社会に貢献し続けます

これまでに進めてきた災害バルク、非常用発電機、LPガス仕様のGHPの設置及びLPG自動車の普及はサステナブルな社会の構築には不可欠であり、レジリエンス強化の切り札になることから分散型エネルギーであるLPガスがバックアップとして存在することで国土強靱化は更に確実なものになります。



④ LPガスは本質的にCO₂排出量が低く、環境に優しいエネルギーですが、更にLPガス産業全体のネットゼロエミッションに向けた取組み等を進め、低炭素化社会に大きく貢献します

高効率燃焼機器の普及促進や燃料転換による環境貢献やLPG燃料船によるSOx、CO₂削減に向けた更なる貢献が期待されることに加え、温室効果の低いLPガスのフロン代替やZEB、ZEHへの積極的な検討により**ネットゼロエミッション***に向けた取組みも進めます。



*のある項目は特に研究機関や大学を含めた産学官連携を強めること等によって、更なる技術革新が必要な検討課題です。

ポジティブにLPガスを使うという相互補完的なエネルギーバランスをとることが必要です